

# 災 害 の 概 況

(平成 24 年 上半期)



鳥 取 県 西 部 広 域 行 政 管 理 組 合  
消 防 局



# 目 次

(ページ数)

災害概況のまとめ	1
<b>I. 火災概況</b>	<b>2</b>
1. 火災の状況	2
2. 火災原因	3
3. 死者・負傷者	3
別図 I - 1 火災件数の推移	3
別図 I - 2 火災種別ごとの件数と構成比率	3
別図 I - 3 月別の火災件数	4
別図 I - 4 市町村別火災件数の構成比率	4
別図 I - 5 経過別死者発生状況	5
別図 I - 6 経過別負傷者発生状況	5
別表 I - 1 平成24年上半期の火災概況	6
別表 I - 2 月別火災発生状況	7
別表 I - 3 市町村別火災状況	8
別表 I - 4 原因別火災発生状況	9
<b>II. 救急概況</b>	<b>10</b>
1. 救急出動状況、救急搬送状況	10
2. 市町村別救急活動状況	10
3. 傷病程度別搬送状況	10
4. 年齢別搬送状況	10
5. 署所別救急活動状況	10
6. 月別救急活動状況	10
7. 現場到着所要時間、収容所要時間	10
8. 応急手当実施状況	10
9. 高度救命処置件数	10
10. 医師引継ぎ時の状況	10
別図 II - 1 事故種別救急出動状況	11
別図 II - 2 事故種別救急搬送状況	11
別図 II - 3 過去5年間の救急推移	12
別図 II - 4 市町村別救急活動状況	12
別図 II - 5 傷病程度別搬送状況	13
別図 II - 6 年齢別搬送状況	13
別図 II - 7 署所別救急活動状況	14
別図 II - 8 月別救急活動状況	14
別図 II - 9 現場到着所要時間	15
別図 II - 10 収容所要時間	15
別図 II - 11 応急手当実施状況	16
別図 II - 12 高度救命処置件数	16
別図 II - 13 医師引き継ぎ時の状況	16

III. 救助概況	17
1. 事故種別救助出動状況	17
2. 事故種別救助活動状況	17
3. 事故種別救助人員状況	17
4. 管轄別救助活動状況	17
5. 市町村別救助活動状況	17
別図Ⅲ－ 1 事故種別救助出場状況	17
別図Ⅲ－ 2 事故種別救助活動状況	18
別図Ⅲ－ 3 事故種別救助人員状況	18
別図Ⅲ－ 4 管轄別救助活動状況	19
別図Ⅲ－ 5 市町村別救助活動状況	19
IV. 119番着信状況	20
1. 概況	20
2. 月別の着信状況	20
3. 電話種別による通報状況	20
4. 携帯電話からの着信状況	20
5. 時間帯別119番通報の着信状況	21
別表Ⅳ－ 1 119番着信件数の推移	21
別表Ⅳ－ 2 月別119番着信状況	21
別表Ⅳ－ 3 電話種別による119番着信件数の推移	21
別表Ⅳ－ 4 電話種別の通報状況	22
別表Ⅳ－ 5 携帯電話からの着信状況	22
別表Ⅳ－ 6 携帯電話の消防機関別転送状況	22
別図Ⅳ－ 1 通報内容別着信状況	23
別図Ⅳ－ 2 月別着信状況	23
別図Ⅳ－ 3 固定電話、携帯電話、IP電話からの着信比率	24
別図Ⅳ－ 4 災害別の固定電話、携帯電話からの着信比率	24
別図Ⅳ－ 5 時間帯別着信状況	24

## 災害概況のまとめ (平成24年1月から6月)

### I 火災概況

本年上半期の火災件数は56件で、前年に比べ2件減少しています。

これは、建物火災が4件、その他火災（枯れ草火災などの火災）が2件増加しましたが、林野火災が2件、車両火災が6件減少したことによるものです。

建物火災が増加したにもかかわらず、火災による建物の損害程度のうち「全焼」・「半焼」の件数は前年に比べ50%以上減少し、「部分焼」についても30%以上の減少となりました。その反面「ぼや」が75%以上の増加となっています。

要因としては、住宅用火災警報器の設置義務化に伴い設置率が上がり、火災が早期に発見され、通報・初期消火などに一定の効果が表れたものと考えられます。

損害額は、焼損面積の減少と昨年同期に発生した工場火災等が無かったことから、前年に比べ75%の大幅な減少となっています。

火災原因については、「放火」が6件と最も多く、次いで「たばこ」、「こんろ」、「火入れ」が5件、「たき火」が4件となっています。

火災による死者は、前年に比べ5人減少し2人となっており、発生の経過は「逃げ遅れ」・「不明・調査中」によるものがそれぞれ1名となっています。

負傷者は、前年に比べ3人増加し12人となり、約6割の方が初期消火の際の負傷となっています。負傷者は65歳以上の高齢者の割合が高く、今後の高齢化の進展とともに、さらに増加していく恐れがあります。

全ての家庭に住宅用火災警報器の設置が義務化され、その奏功例が増えています。死傷者の発生を防止する為にも、引き続き設置対策及び適正な維持管理を含め、防災製品の普及活動などの住宅防火対策の推進が重要と考えます。

### II 救急概況

救急出動件数は4,778件で前年に比べ36件減少し、救急搬送人員も4,446人で49人の減少となっています。

事故種別で見ますと、急病が半数以上を占め、次いで一般負傷、転院搬送、交通事故の順となっています。

年齢別で見ますと、65歳以上の高齢者が搬送される割合が年々増加しています。今後、少子高齢化に伴い更に高齢者の占める割合が増加することが予測されます。

心肺停止傷病者に対するの応急手当の割合が微増しています。救急現場での早期応急手当が救命のチャンスを拡大します。

### III 救助概要

救助出動件数は80件で前年に比べ6件の増加し、救助活動件数は56件で前年に比べ1件増加しています。

救助人員は44人で前年に比べ6人増加し、事故種別で見ますと、交通事故が最も多く22名となっています。

全国的に風水害、地震、列車事故など災害規模が大規模化することに伴い、県内や県外の消防、医療、防災機関、行政などの迅速な連携活動が必要不可欠となっています。

### IV 119番着信状況

119番の総着信件数は6,384件で昨年上半期より483件減少しています。事故種別ごとに占める割合を見ますと、火災通報100件で61件減、救急通報4,585件で62件減、救助通報29件で9件増、警戒通報は42件で10件増、問い合わせ473件で278件減、間違い291件で66件減、悪戯63件で37件減、訓練等801件で2件増でした。総着信件数から問い合わせ、間違い、悪戯、訓練等を除く災害通報は4,756件で昨年上半期に比べると104件減でした。その中でも火災、救助、警戒といった屋外で発生または発見される災害では、携帯電話による通報がそれぞれ50%以上も占めており、統合型発信地システムを活用し、発信位置の正確な情報を取得するよう努めています。

## I 火災概況

(平成24年上半期 1月～6月)

### 1 火災の状況

#### (1) 火災件数

平成24年上半期の火災件数は56件で、前年に比べ2件(3.5%)少なくなっています。

年 別	20年	21年	22年	23年	24年
火災件数	48件	63件	41件	58件	56件

(別表I-1・別図I-1参照)

#### (2) 火災種別

種別の構成比率をみますと、建物火災が全体の38件(68%)と最も高い比率を占め、次いで、その他火災(枯れ草火災など)15件(27%)、車両火災3件(5%)と続いています。

前年に比べ建物火災は4件、その他火災は2件多くなっています。

(別表I-1・別図I-2参照)

#### (3) 月別

月別の火災件数をみますと、4月が17件(30%)で最も多く、次いで5月の13件(23%)、6月の9件(16%)となっています。最も少なかったのは、2月の4件(7%)です。

火災種別ごとの状況は、建物火災は5月が最も多く8件(14%)、次いで1月・4月・6月に7件(13%)発生しています。その他火災については、4月が8件と最も多く発生しています。

(別表I-2・別図I-3参照)

#### (4) 市町村別

市町村別の火災件数をみますと、市部(米子市、境港市)で38件と全体の68%を占めています。

(別表I-3・別図I-4参照)

#### (5) 損害額

損害額は、約4,028万円で、前年比-75%と大幅な減少となっています。減少した要因は、建物火災において全焼・半焼となった焼損棟数が前年に比べ半数以下となったためです。

火災種別ごとの損害額は、建物火災が全体の98%以上を占めています。

月別の損害額は、建物火災による焼損面積が最も多かった6月(約1,291万円)が最も多く全体の32%となっています。次いで1月(約974万円)の24%となっています。

(別表I-1・別表I-2参照)

## 2 火災原因

原因別では、「その他」11件、「不明・調査中」8件を除くと、「放火」が6件（11％）で最も多く、次いで「たばこ」、「こんろ」、「火入れ」が5件（9％）、「たき火」が4件（7％）となっています。（別表Ⅰ－4参照）

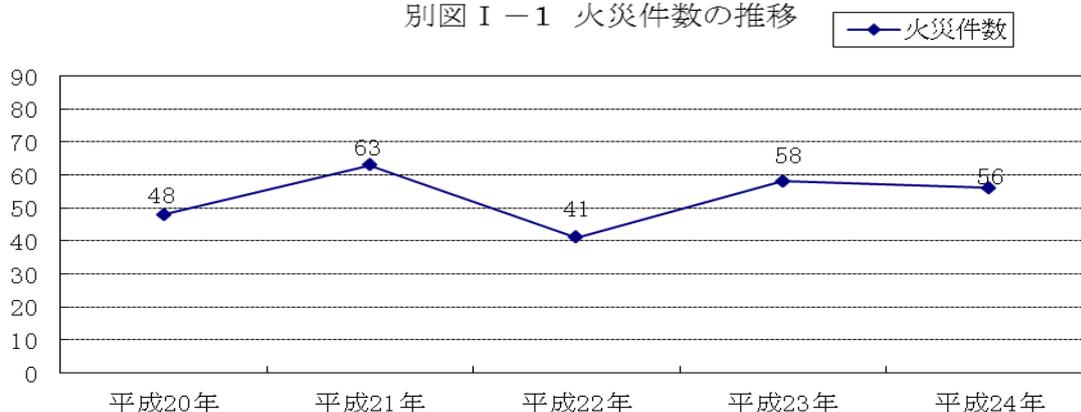
## 3 死者・負傷者

死者は前年同期7人でしたが、今年は5人少ない、2人（－71％）と大幅に減少しました。そのうち1人は「逃げ遅れ」によるものです。

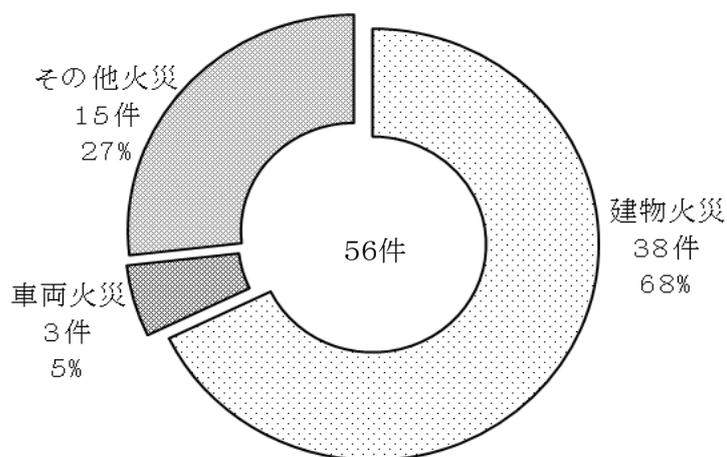
また、負傷者は前年より3人多く12人（＋33％）となっています。

（別表Ⅰ－1．別図Ⅰ－5．別図Ⅰ－6参照）

別図Ⅰ－1 火災件数の推移

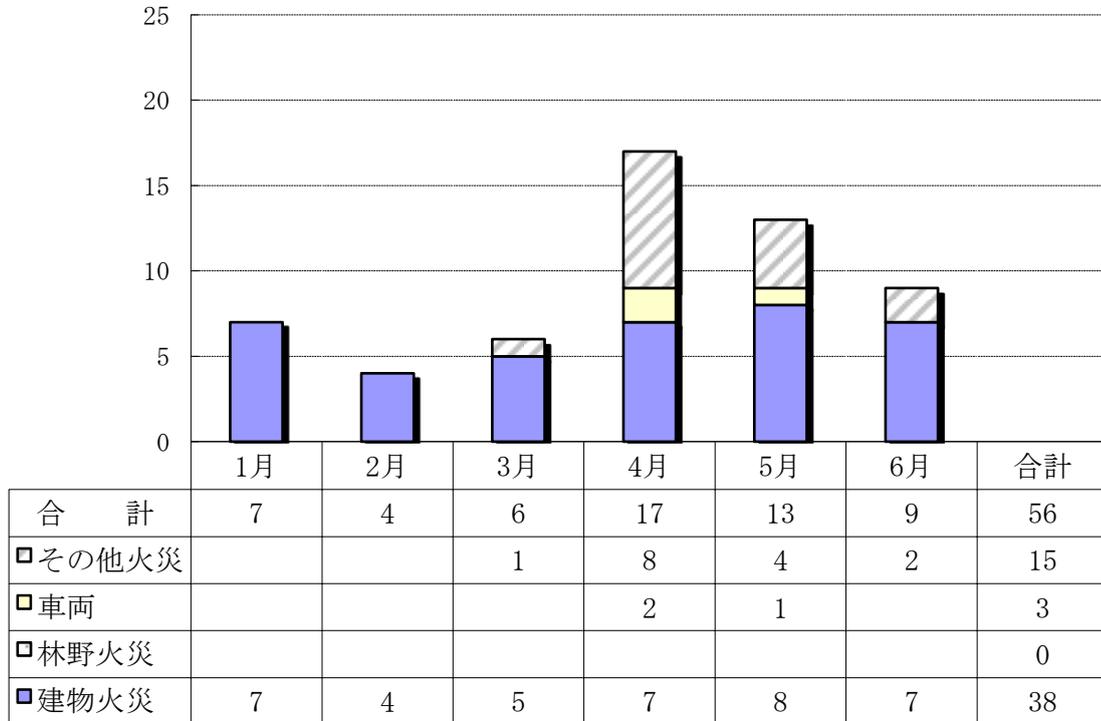


別図Ⅰ－2 火災種別ごとの件数と構成比率

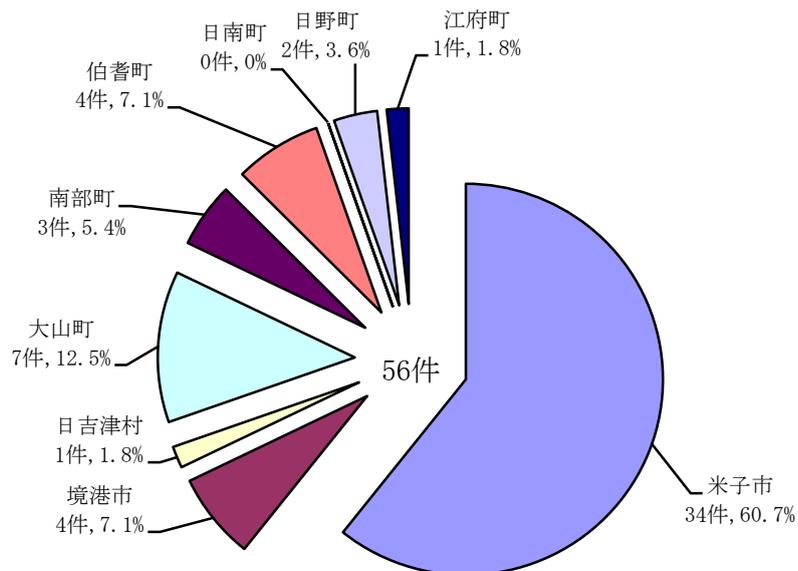


別図 I - 3 月別の火災件数

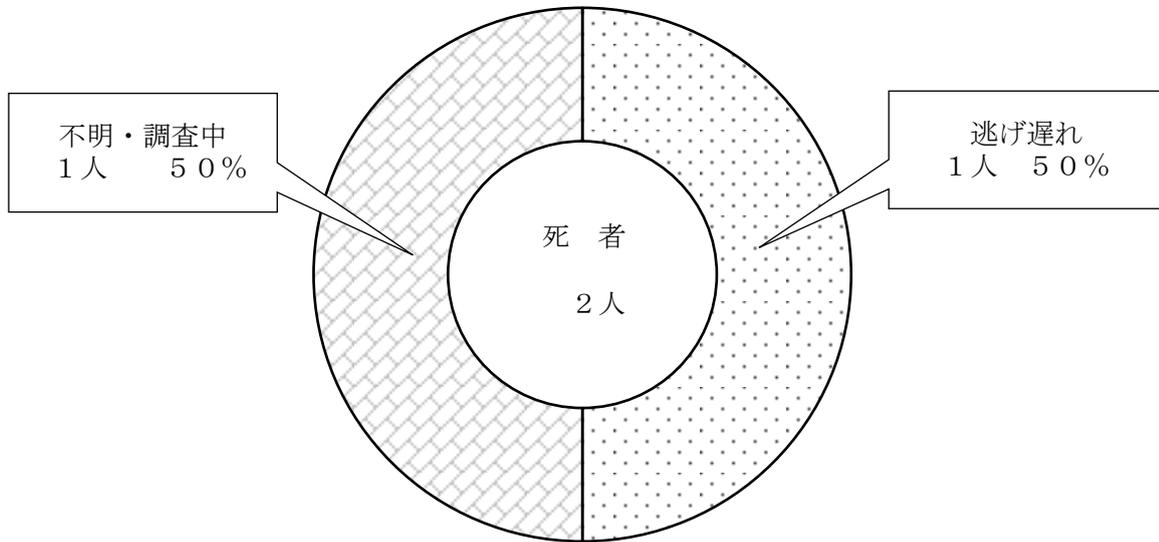
■建物火災 ■林野火災  
 ■車両 ■その他火災



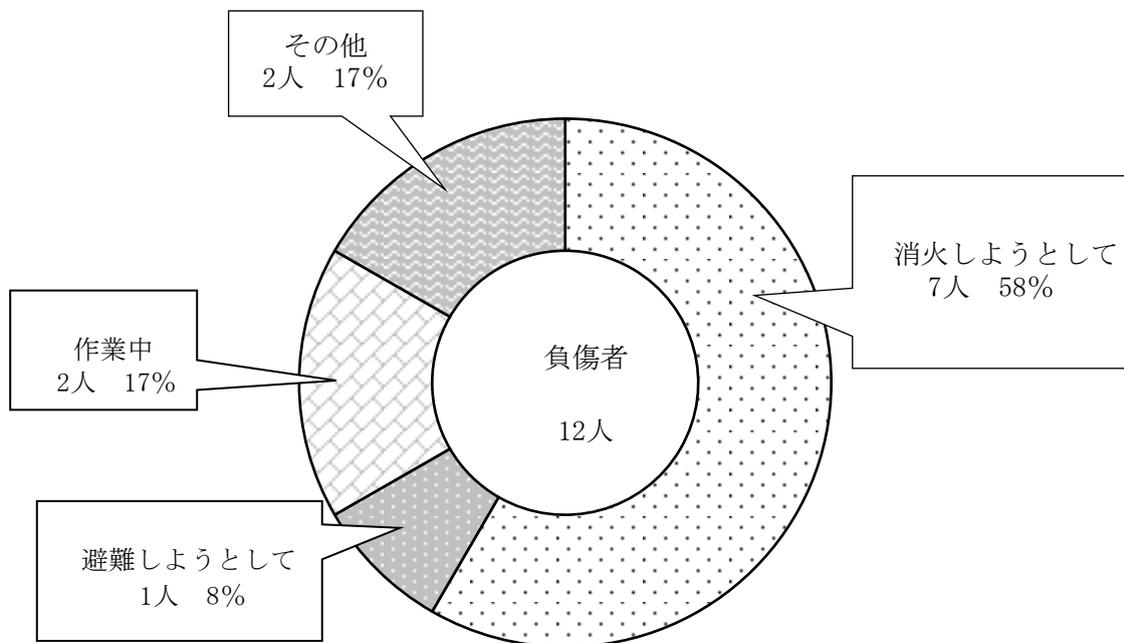
別図 I - 4 市町村別火災件数の構成比率



別図 I - 5 経過別死者発生状況



別図 I - 6 経過別負傷者発生状況



別表 I - 1 平成 24 年上半期の火災概況

区 分	平成 24 年 A	平成 23 年 B	増 減 C (A-B)	増 減 率 C/B %	
火 災 件 数 ( 件 )	5 6 ( 100% )	5 8 ( 100% )	- 2	-3%	
建 物 火 災	3 8 ( 68% )	3 4 ( 59% )	4	12%	
林 野 火 災	( )	2 ( 3% )	- 2	-100%	
車 両 火 災	3 ( 5% )	9 ( 16% )	- 6	-67%	
船 舶 火 災	( )	( )		-	
そ の 他 火 災	1 5 ( 27% )	1 3 ( 22% )	2	15%	
焼 損 棟 数 ( 棟 )	5 0 ( 100% )	6 2 ( 100% )	- 1 2	-19%	
全 焼	9 ( 18% )	1 9 ( 31% )	- 1 0	-53%	
半 焼	3 ( 6% )	8 ( 13% )	- 5	-63%	
部 分 焼	1 5 ( 30% )	2 2 ( 35% )	- 7	-32%	
ぼ や	2 3 ( 46% )	1 3 ( 21% )	1 0	77%	
罹 災 世 帯 数 ( 世 帯 )	2 9 ( 100% )	3 1 ( 100% )	- 2	-6%	
全 損	6 ( 21% )	8 ( 26% )	- 2	-25%	
半 損	2 ( 7% )	5 ( 16% )	- 3	-60%	
小 損	2 1 ( 72% )	1 8 ( 58% )	3	17%	
罹 災 人 員 ( 人 )	6 7	9 1	- 2 4	-26%	
焼 損 面 積	建 物 ( m <sup>2</sup> )	2, 6 5 8	3, 5 8 8	- 9 3 0	-26%
	林 野 ( a )		1 9	- 1 9	-100%
損 害 額 ( 千 円 )	4 0, 2 8 2	1 5 8, 0 7 1	- 1 1 7, 7 8 9	-75%	
建 物 火 災	3 9, 5 8 0	1 5 3, 7 2 1	- 1 1 4, 1 4 1	-74%	
林 野 火 災		4 6 2	- 4 6 2	-100%	
車 両 火 災	6 6 3	3, 8 3 9	- 3, 1 7 6	-83%	
船 舶 火 災				-	
そ の 他 火 災	3 9	4 9	- 1 0	-20%	
1 件 当 り 損 害 額 ( 千 円 )	火 災 全 体	7 1 9	2, 7 2 5	- 2, 0 0 6	-74%
	建 物 火 災	1, 0 4 2	4, 5 2 1	- 3, 4 8 0	-77%
1 件 当 り 損 害 面 積	建 物 ( m <sup>2</sup> )	7 0	1 0 6	- 3 6	-34%
	林 野 ( a )		1 0	- 1 0	-100%
死 者 ( 人 )	2	7	- 5	-71%	
負 傷 者 ( 人 )	1 2	9	3	33%	

備考 ( ) 内は構成比を示す。

別表I-2 月別火災発生状況

	合計		建物火災		焼損棟数				り災世帯				車両火災		その他火災		死者	負傷者	30日以内死亡			
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	全	半	小	り災人員	件数	損害額 (千円)				件数	損害額 (千円)	
1月	7	9,738	7	9,738	9	1	1	3	4	5	1	1	3	10					1	2		
2月	4	7,023	4	7,023	4			2	2	4	1		3	7								
3月	6	1,884	5	1,884	11	1	1	2	7	5	1		4	14			1			1		
4月	17	3,718	7	3,130	7	2		3	2	5	1		4	12	2	588	8			1	3	
5月	13	5,003	8	4,889	11	3		4	4	7	2		5	16	1	75	4	39			4	
6月	9	12,916	7	12,916	8	2	1	1	4	3		1	2	8			2				2	
合計	56	40,282	38	39,580	50	9	3	15	23	29	6	2	21	67	3	663	15	39		2	12	

別表I-3 市町村別火災発生状況

	火災件数				焼損面積		焼損棟数				り災人員	死者	負傷者 30日以内死亡	損害額 (千円)					
	合計	建物	林野	車両船舶その他	床面積 ㎡	表面積 ㎡	合計	全焼	半焼	部分焼					ぼ	合計	全損	半損	小損
米子市	34	25		7	844	36	35	4	2	12	17	20	4	1	15	46	1	7	17,283
境港市	4	2		2			2				2	1		1		2		1	
日吉津村	1			1															75
大山町	7	4		3	1,219		4	3		1		2	1		1	4	1	1	5,825
南部町	3	2		1			2				2	1			1	5			12
伯耆町	4	2		2	112	1	2	2	1		1	2		1	1	5		3	8,628
日南町																			
日野町	2	2			483	2	4	2		2		2	1		1	3			8,457
江府町	1	1					1				1	1			1	2			2
合計	56	38		15	2,658	39	50	9	3	15	23	29	6	2	21	67	2	12	40,282

別表 I - 4 原因別火災発生状況

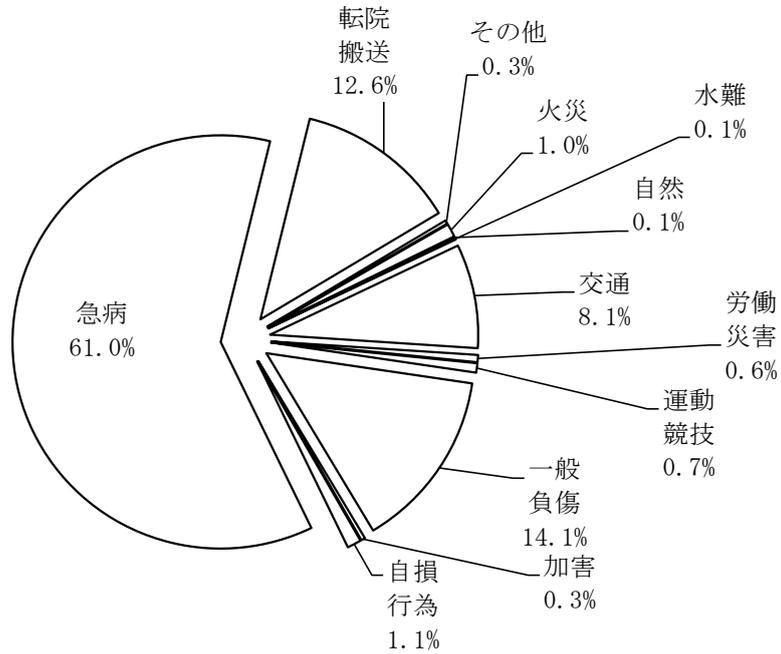
原因別	火災件数							損害額 (千円)	死者負傷者	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	死者	負傷者
合計	56	38		3			15	40,282	2	12
たばこ	5	4		1				11,049		3
こんろ	5	5						1,115		1
かまど										
風呂かまど	1	1						3		
炉										
焼却炉	1						1			1
ストーブ	3	3						6,582		1
こたつ										
ボイラー										
煙突・煙道										
排気管										
電気機器	1			1				538		
電気装置										
電灯・電話等の配線	3	3						8,962		
内燃機関										
配線器具										
火あそび	1						1			
マッチ・ライター										
たき火	4	2					2	112		
溶接機・切断機										
灯火	1	1						2,166	1	1
衝突の火花										
取灰	1	1						36		
火入れ	5	2					3	3,188		3
放火	6	6						272		
放火の疑い										
その他	11	4		1			6	449		1
不明・調査中	8	6					2	5,810	1	1

## II 救急概況

(平成24年上半期 1月～6月)

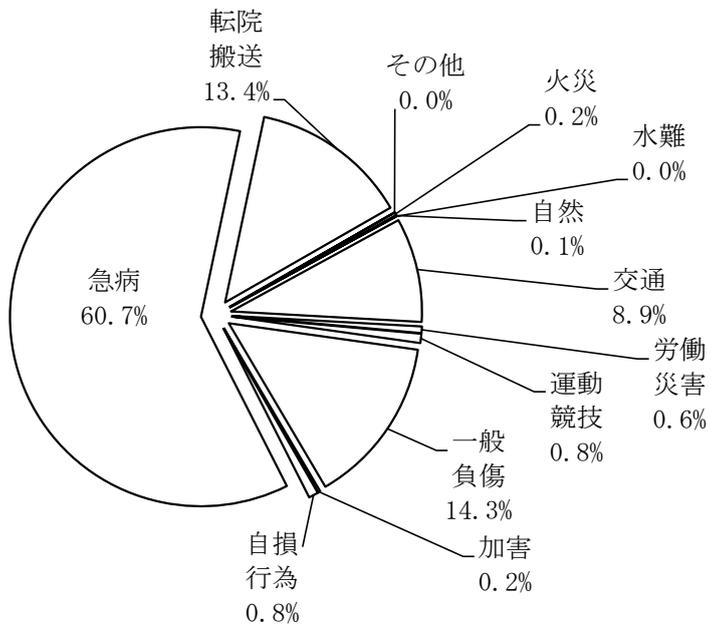
- 1 救急出動状況、救急搬送状況  
平成24年上半期の救急出動件数及び救急搬送人員は、それぞれ4,778件、4,446人であり、前年同期と比べて救急出動件数は36件(-0.8%)、救急搬送人員は49人(-1.1%)の減少となりました。(別図II-1, II-2, II-3参照)
- 2 市町村別救急活動状況  
市町村別では、米子市の救急出動件数及び救急搬送人員がそれぞれ2,901件(65.2%)、2,678人(60.2%)と6割を占めています。(別図II-4参照)
- 3 傷病程度別搬送状況  
傷病程度別の搬送人員を見ると、中等症が2,154人(48.4%)で最も多く、次いで軽症が1,586人(35.7%)、重症591人(13.3%)、死亡104人(2.3%)となっています。(別図II-5参照)
- 4 年齢別搬送状況  
年齢別の搬送人員のうち、65歳以上の高齢者は2,711人(60.9%)で搬送人員の6割を占めています。(別図II-6参照)
- 5 署所別救急活動状況  
署所別の救急出動件数、救急搬送人員ともに米子市を管轄する米子消防署(1,746件1,594人)、皆生出張所(751件、702人)で約半数を占めています。(別図II-7参照)
- 6 月別救急活動状況  
月別の救急出動件数を見ると、1月の877件(19.7%)が最も多く、次いで2月、3月となっています。(別図II-8参照)
- 7 現場到着所要時間、収容所要時間  
平均現場到着所要時間は7分34秒、平均収容所要時間は36分16秒であり、前年同期と比べて平均現場到着所要時間は32秒短縮し、平均収容所要時間も50秒短縮となりました。(別図II-9, II-10参照)
- 8 応急手当実施状況  
家族等により応急手当が実施された件数は、50.7%となりました。(別図II-11参照)
- 9 高度救命処置件数  
気管挿管、薬剤投与が行なえる認定救急救命士の増加により、処置件数も増加しています。(別図II-12参照)
- 10 医師引継ぎ時の状況  
心肺停止傷病者を救急車で搬送中に8人の方が回復しています。(別図II-13参照)

別図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況



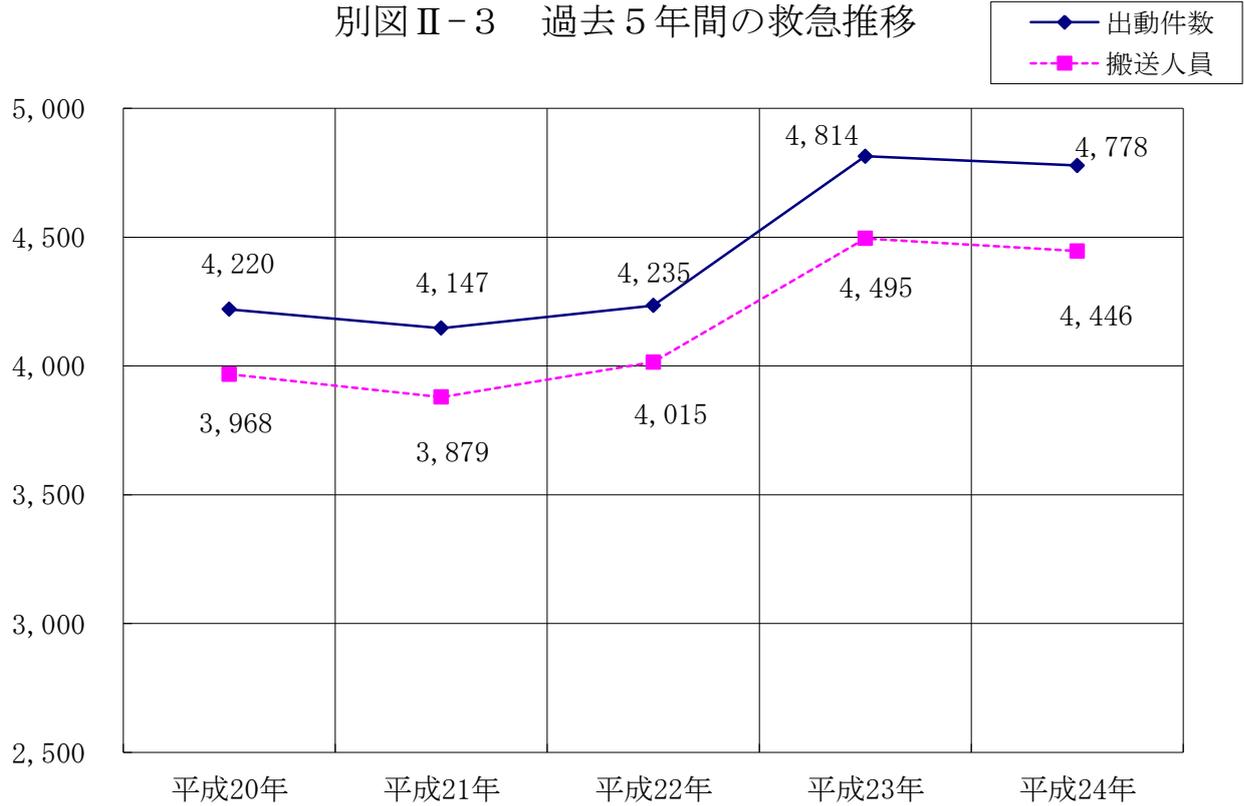
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出場件数	50	3	6	389	27	35	673	15	52	2,914	601	13	4,778

別図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況

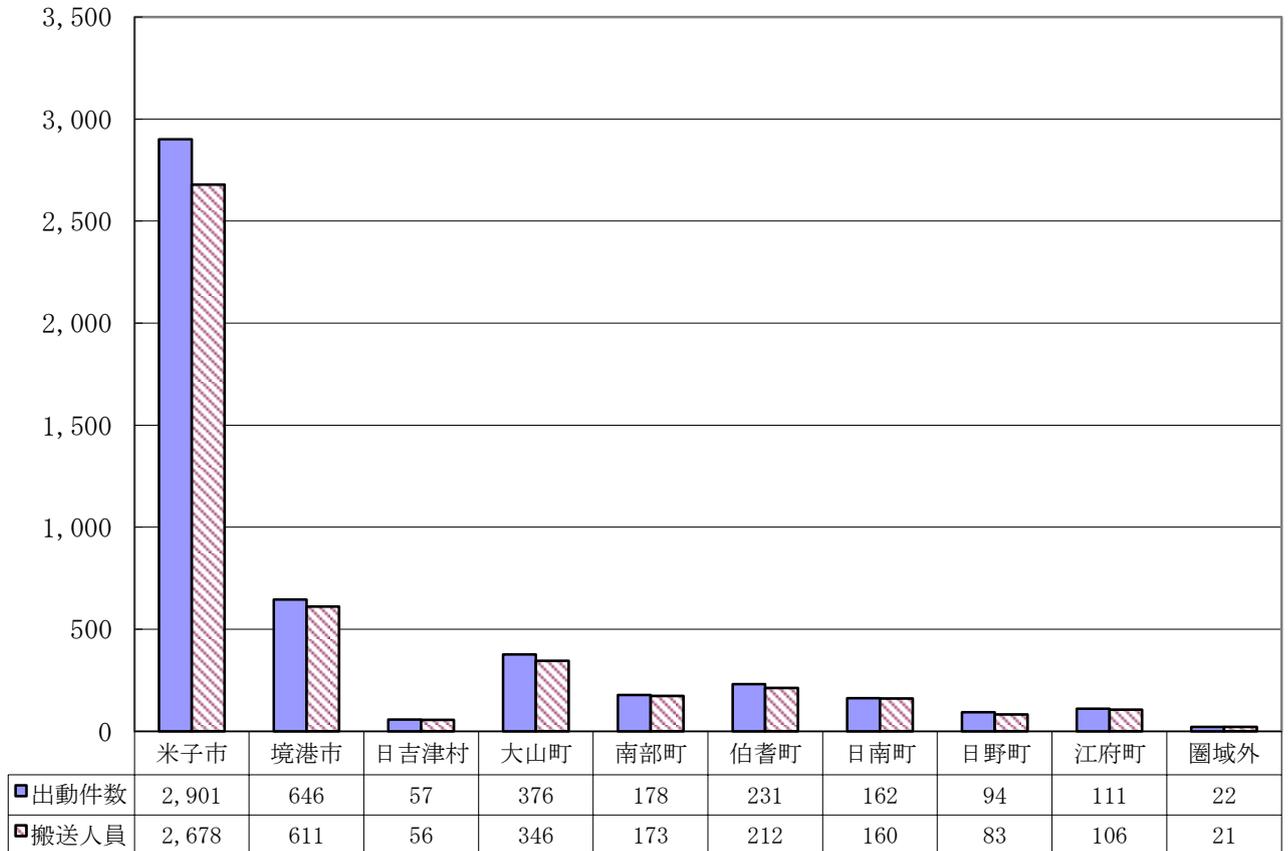


事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	11	3	1	395	25	35	637	9	36	2,699	595	0	4,446

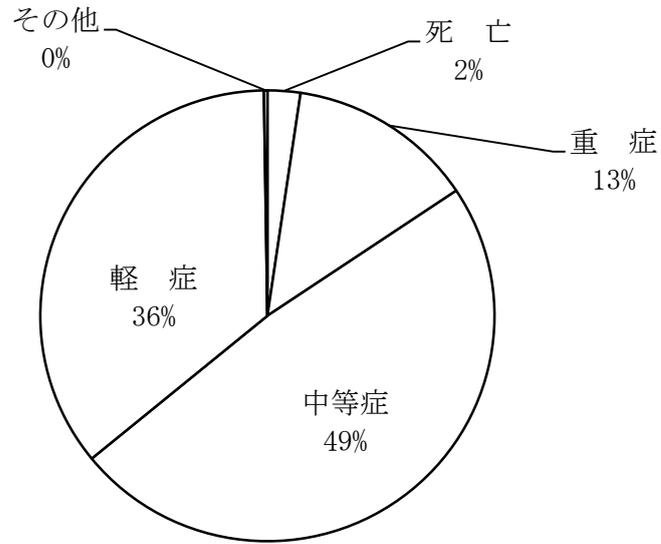
別図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移



別図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況

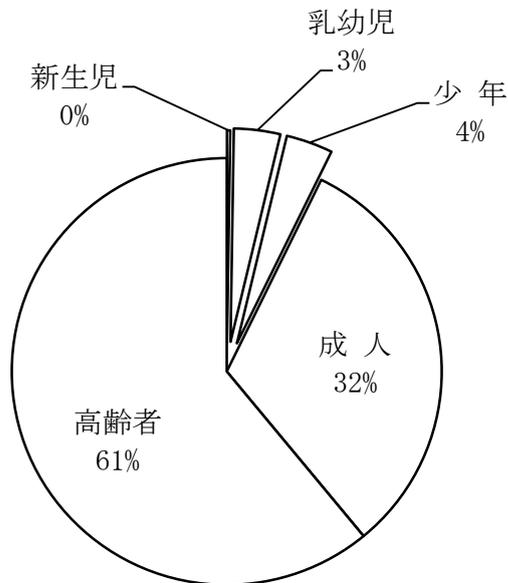


別図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況



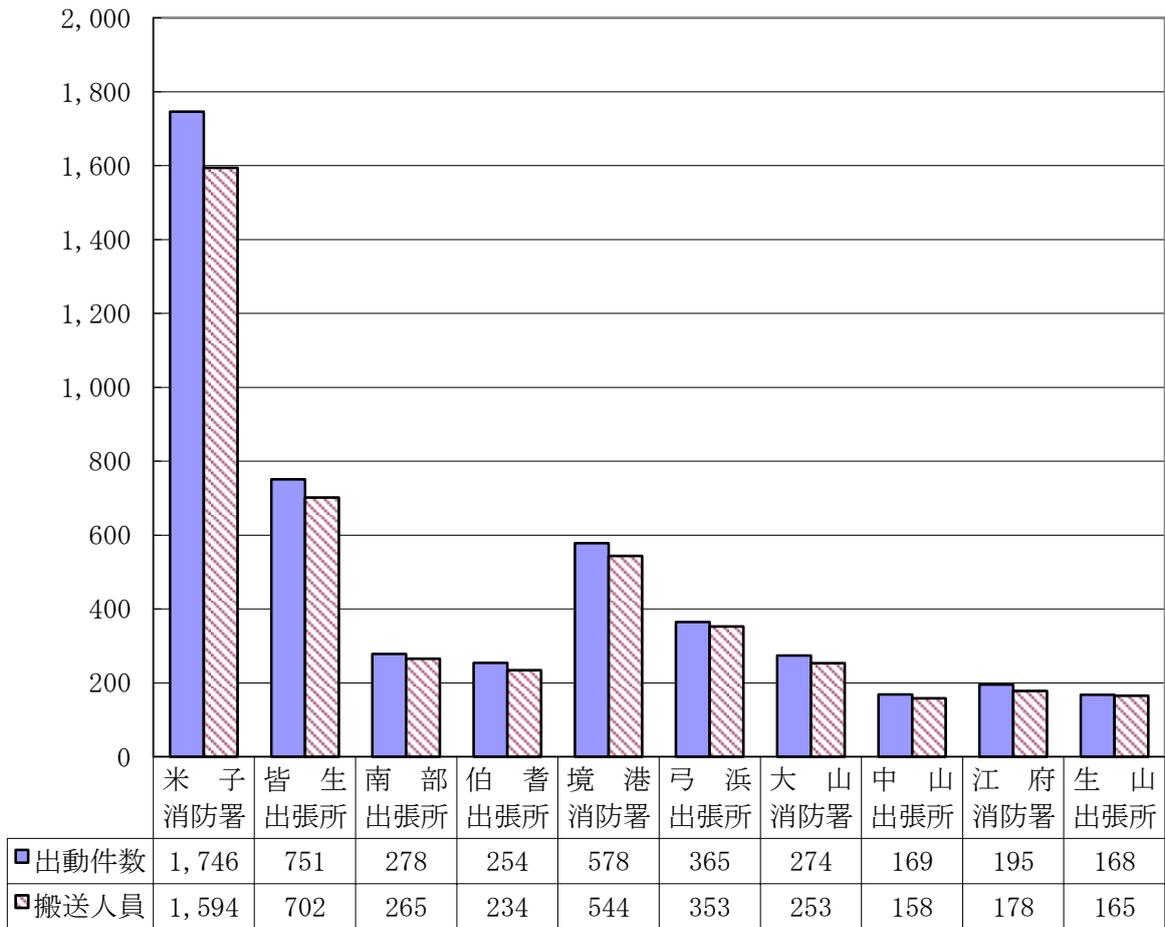
程 度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
搬送人員	104	591	2,154	1,586	11	4,446

別図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

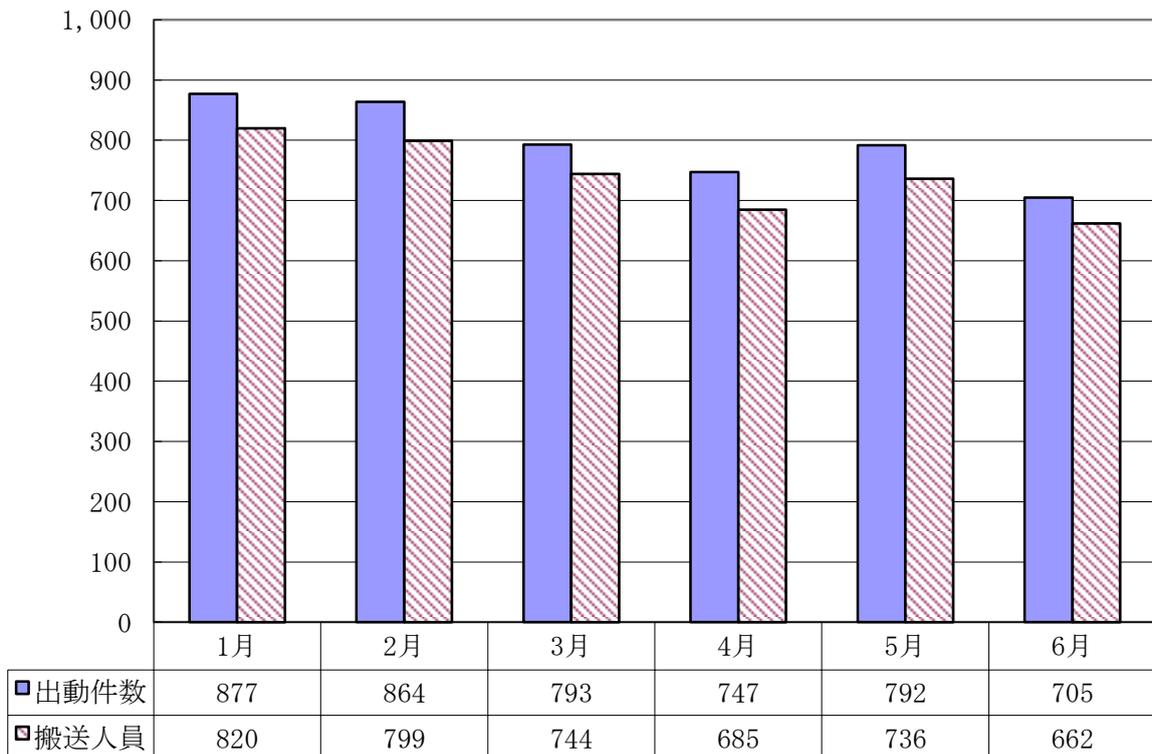


	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
搬送人員	11	155	156	1,413	2,711	4,446

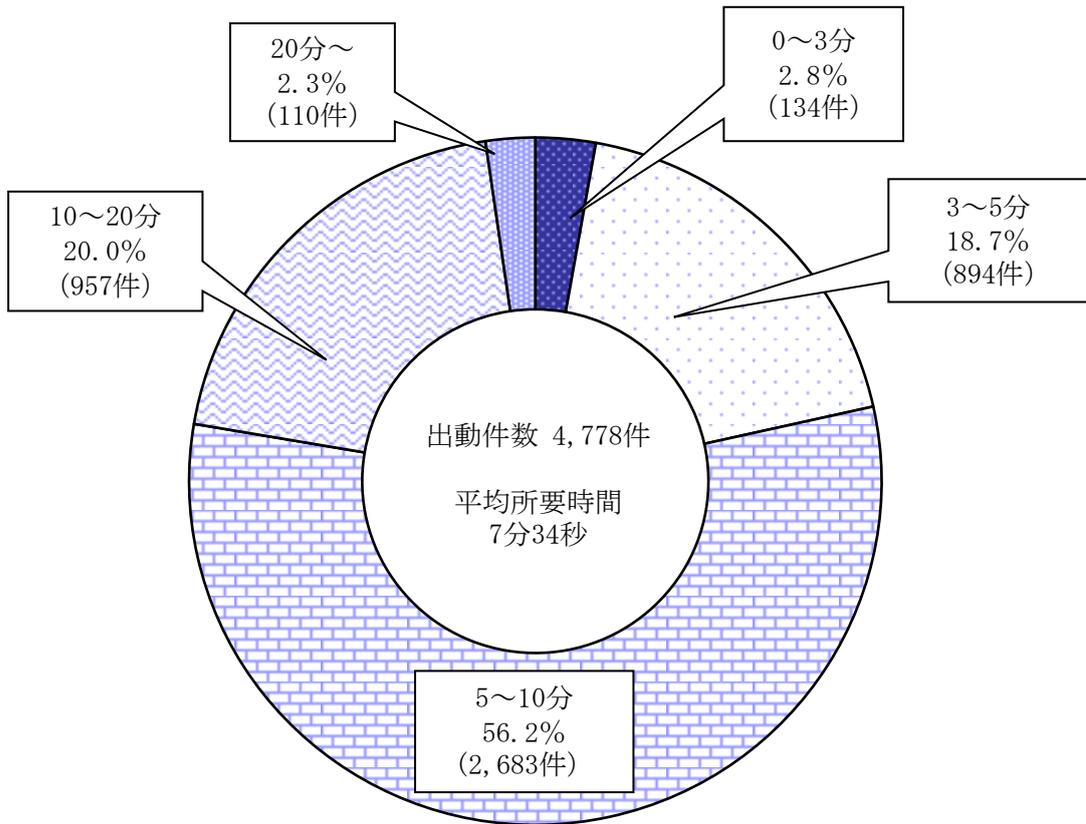
別図Ⅱ-7 署所別救急活動状況



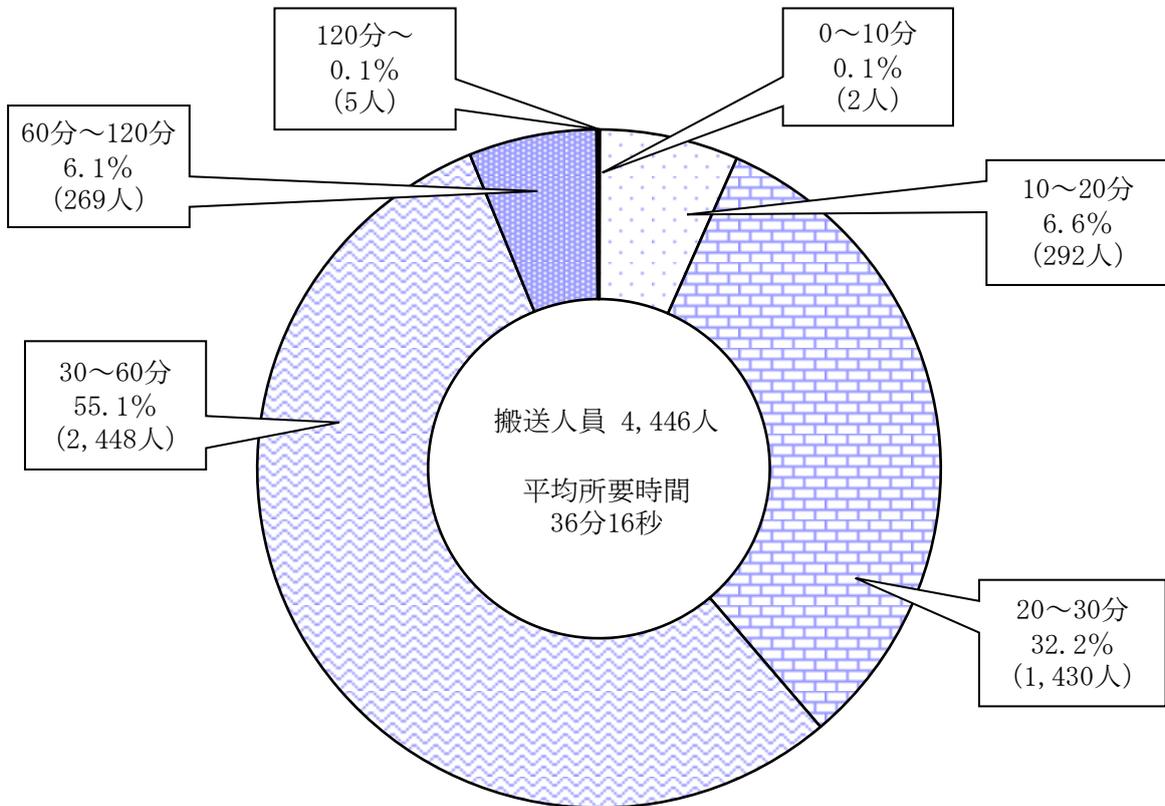
別図Ⅱ-8 月別救急活動状況



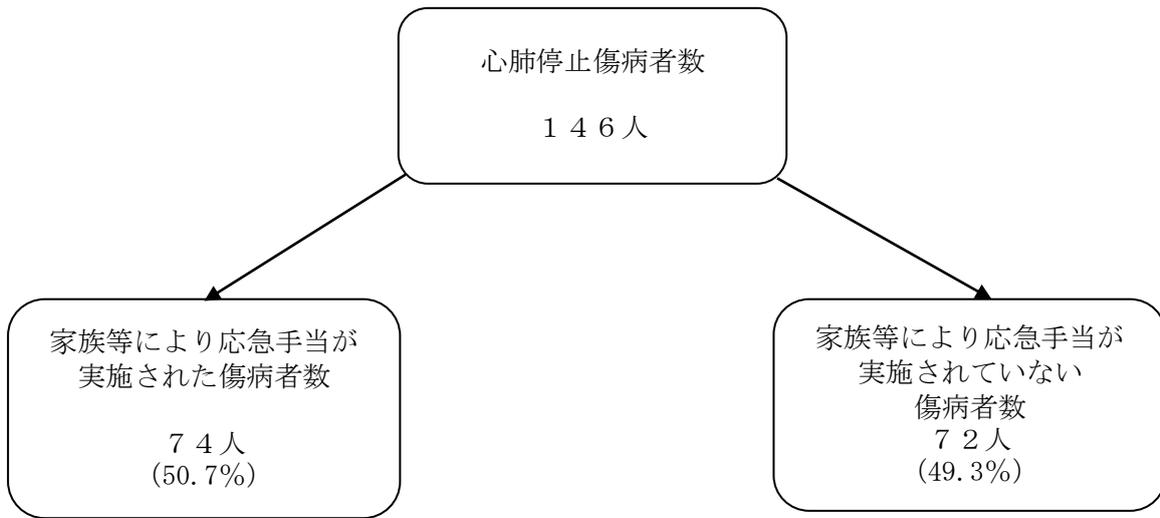
別図Ⅱ-9 現場到着所要時間



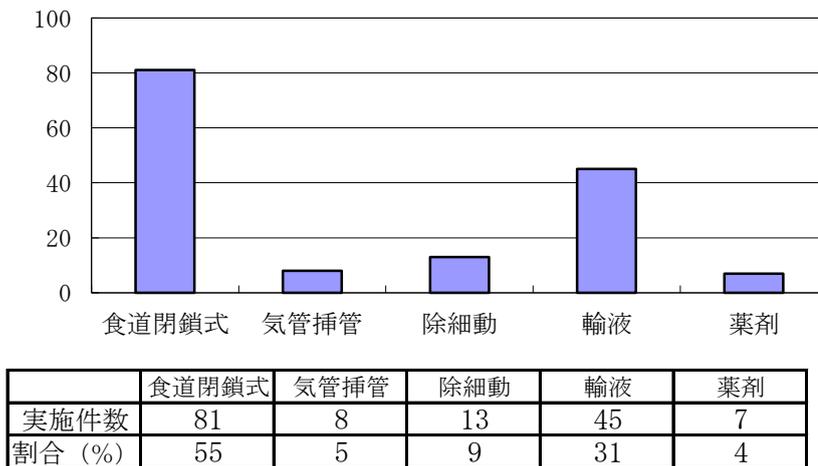
別図Ⅱ-10 收容所要時間



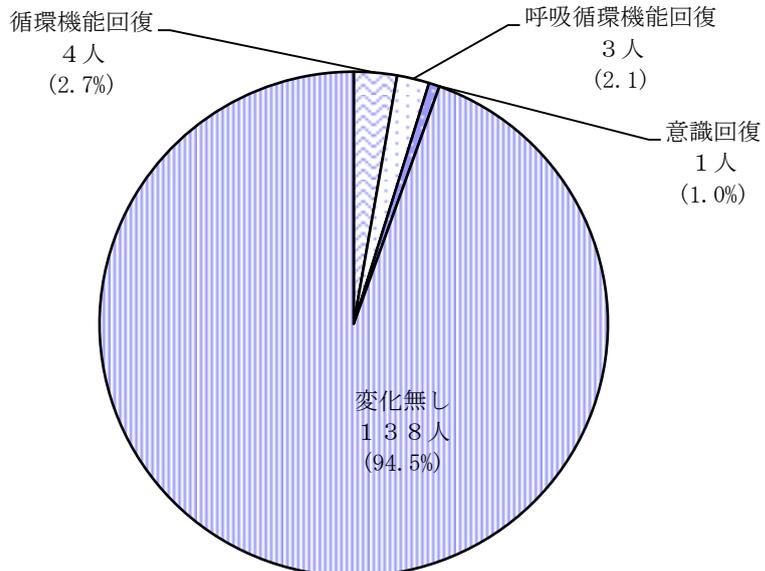
別図Ⅱ-1 1 応急手当実施状況



別図Ⅱ-1 2 高度救命処置件数



別図Ⅱ-1 3 医師引き継ぎ時の状況



### Ⅲ 救助概況

(平成24年上半期 1月～6月)

#### 1 事故種別救助出動状況

救助出場件数は80件あり、そのうち交通事故が34件(42.5%)と最も多く、火災が18件(22.5%)、水難事故が6件(7.5%)、機械事故が2件(2.5%)、建物事故が1件(1.3%) その他の事故が19件(23.8%)となっています。  
(別図Ⅲ-1 参照)

#### 2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は56件あり、そのうち交通事故が19件(33.9%)と最も多く、火災が18件(32.1%)、水難事故4件(7.1%)、機械事故が1件(1.8%)、その他の事故が14件(25.0%)となっています。

(別図Ⅲ-2 参照)

#### 3 事故種別救助人員状況

救助された人員は44人あり、そのうち交通事故が22人(50.0%)と最も多く、火災が4人(9.1%)、水難事故が4人(9.1%)、機械事故が1人(2.3%)、その他の事故が13人(29.5%)となっています。

(別図Ⅲ-3 参照)

#### 4 管轄別救助活動状況

事故が発生した場所を消防署の管轄別で比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員とも米子消防署が最も多く、次いで大山、江府、境港消防署の順となっています。

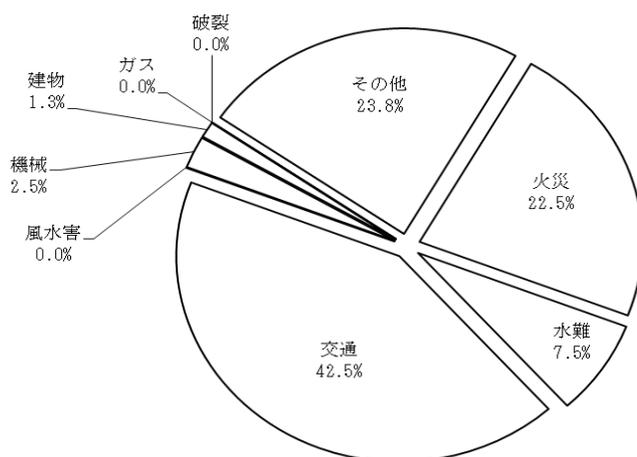
(別図Ⅲ-4 参照)

#### 5 市町村別救助活動状況

事故が発生した場所を市町村別で比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く、次いで大山町、境港市、日野町の順となっています。

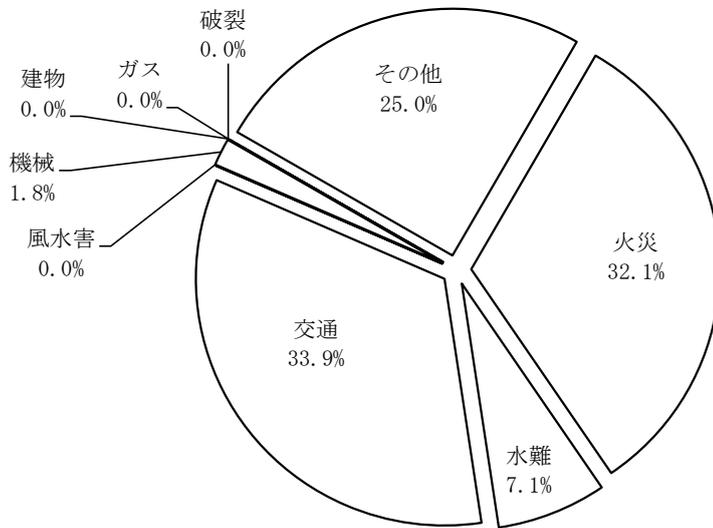
(別図Ⅲ-5 参照)

別図Ⅲ-1 事故種別救助出場状況



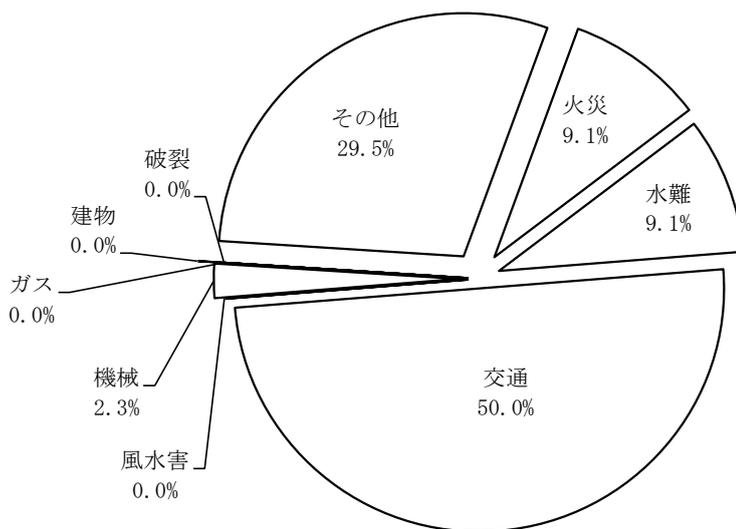
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	18	6	34	0	2	1	0	0	19	80

別図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況



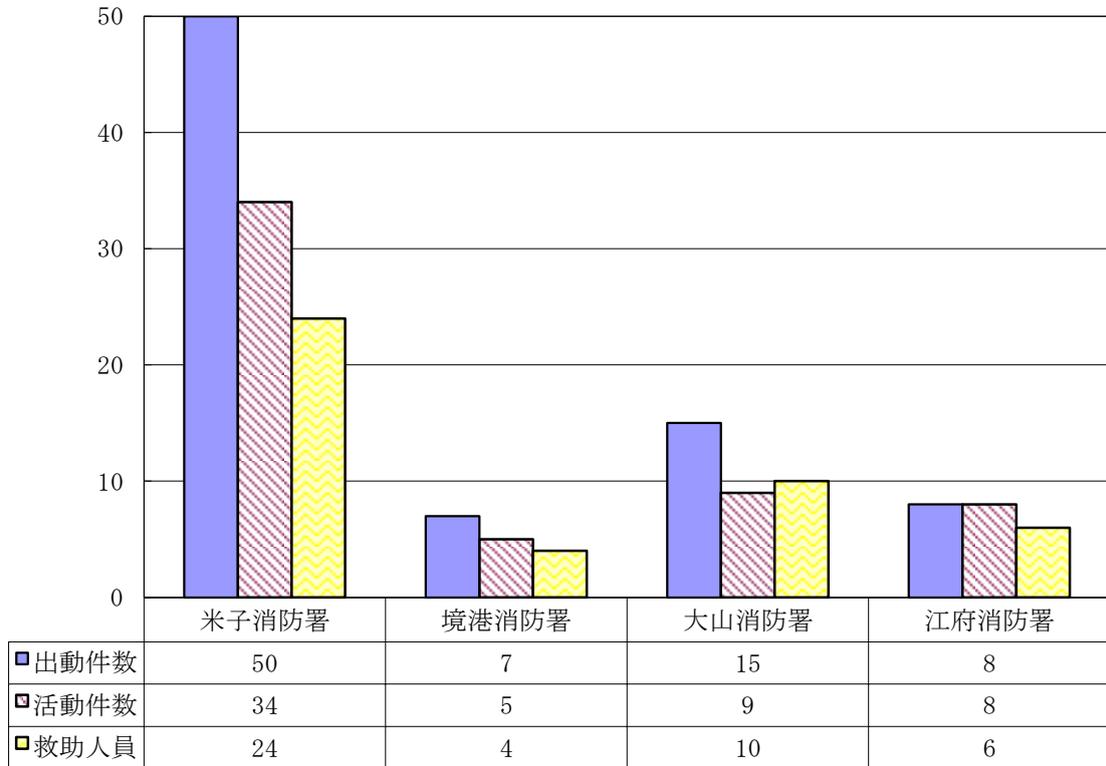
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	18	4	19	0	1	0	0	0	14	56

別図Ⅲ-3 事故種別救助人員状況

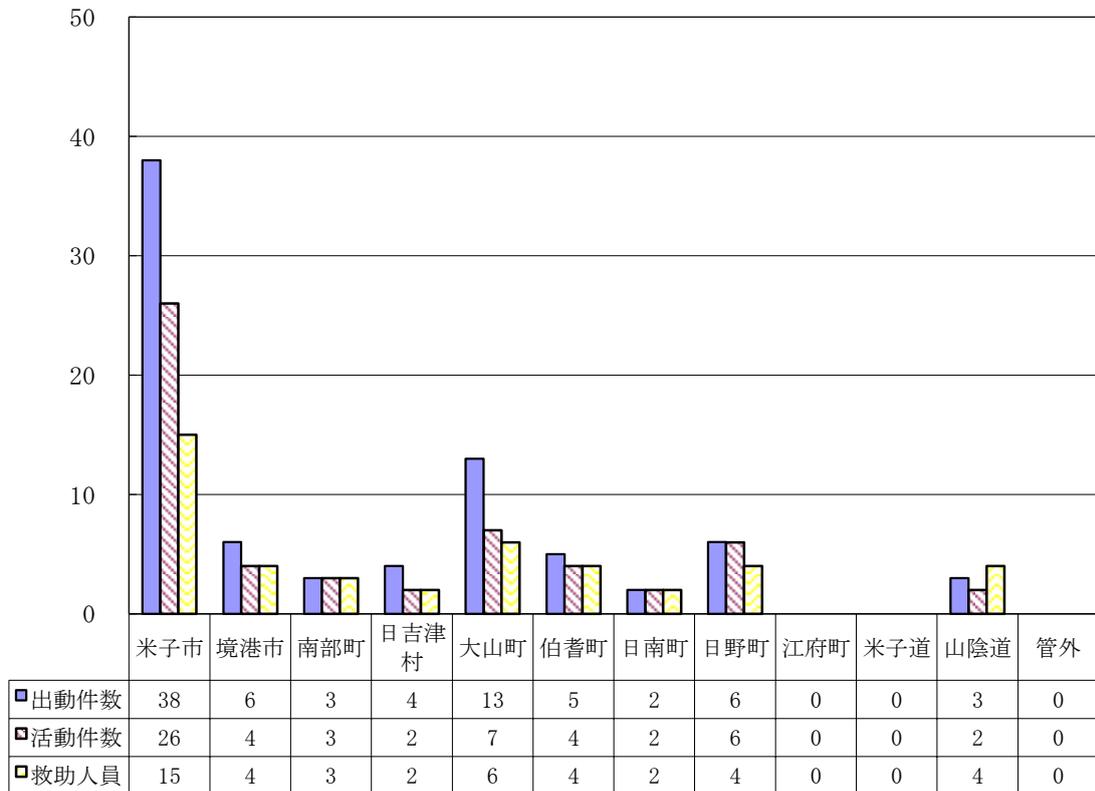


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	4	4	22	0	1	0	0	0	13	44

別図Ⅲ-4 管轄別救助活動状況



別図Ⅲ-5 市町村別救助活動状況



## IV. 119番着信状況

(平成24年1月～6月)

### 1. 概況

平成24年上半期の119番通報は、総着信件数6,384件で昨年上半期より483件少なくなっています。1ヶ月平均にすると1,064件、1日平均では約35件の着信となります。通報内容としては、救急が最も多く4,585件(71.8%)でした。火災は100件(1.6%)で、そのほかの通報としては、救助29件(0.5%)、警戒42件(0.7%)、間違い291件(4.6%)、通報訓練等801件(12.5%)、休日・夜間などの病院に関する問い合わせ等473件(7.4%)で、悪戯と思われるものが63件(1%)となっています。

(別表IV-1、別図IV-1参照)

### 2. 月別の着信状況

月別での着信件数の最も多かったのは5月の1,109件、逆に最も少なかったのは6月の1,001件でした。救急通報では、最も多かったのは1月の855件、逆に最も少なかったのは6月の673件で、月平均764件でした。火災通報では、最も多かったのは4月の25件、逆に最も少なかったのは2月10件で、月平均17件となっています。

(別表IV-2、別図IV-2参照)

### 3. 電話種別による通報状況

災害別の通報状況として、固定電話(IP電話含む)と携帯電話の比率では、救助、火災、警戒が救急に比べ携帯電話の比率が高くなっています。また、近年IP電話による通報が増加傾向にあります。屋外で発生する交通事故や火災、たき火といった多くの人の目につきやすいものと、急病など屋内で発生することが多い救急との電話種別の違いが現れています。

(別表IV-3、IV-4、別図IV-3、IV-4参照)

### 4. 携帯電話からの着信状況

携帯電話からの119番通報は1,860件で、全着信件数の約29%でした。携帯電話で119番通報されると、その場所により必ずしも、電話をされた地区を管轄する消防本部に接続されるとは限りません。管轄地区以外の通報が着信した場合には、その地区を管轄する消防本部相互に掛かってきた電話を転送し対応しています。これを携帯電話の消防機関別転送処理状況として、別表IV-6に表しています。上半期の他の消防機関との転送処理件数は39件となっています。

(別表IV-3、IV-4、IV-5、IV-6、別図IV-3、IV-4参照)

### 5. 時間帯別119番通報の着信状況

時間帯別119番通報の着信件数は、活動時間帯(午前8時頃～午後9時)に大半を占めており、睡眠時間帯(午後10時～午前6時)では午前5時まで時間の経過とともに件数が少なくなっています。

(別図IV-5参照)

別表IV-1 119番着信件数の推移

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
平成20年	92	4,049	30	57	505	373	70	570	5,746
平成21年	134	4,014	25	45	540	365	71	579	5,773
平成22年	90	4,099	26	34	527	358	60	798	5,992
平成23年	161	4,647	20	32	751	357	100	799	6,867
平成24年	100	4,585	29	42	473	291	63	801	6,384

別表IV-2 月別119番着信状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
1月	17	855	7	4	88	39	6	77	1,093
2月	10	824	4	5	64	52	6	102	1,067
3月	11	769	5	5	62	48	7	188	1,095
4月	25	712	6	12	82	57	16	109	1,019
5月	21	752	5	7	89	46	11	178	1,109
6月	16	673	2	88	17	49	17	147	1,001
合計	100	4,585	29	42	473	291	63	801	6,384
月平均	16.7	764.2	4.8	7.0	78.8	10.5	48.5	133.5	1,064

別表IV-3 電話種別による119番着信件数の推移

	固定電話からの着信件数	携帯電話からの着信件数	I P電 話	合 計
平成20年	3,913	1,458	375	5,746
平成21年	3,573	1,508	692	5,773
平成22年	3,472	1,627	893	5,992
平成23年	3,592	2,022	1,253	6,867
平成24年	3,153	1,860	1,371	6,384

別表Ⅳ－４ 電話種別の通報状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
固定電話	29	2,225	7	12	137	99	22	622	3,153
携帯電話	59	1,231	16	24	243	154	39	94	1,860
IP電話	12	1,129	6	6	93	38	2	85	1,371
総合計	100	4,585	29	42	473	291	63	801	6,384
携帯電話比率	59%	27%	55%	57%	51%	53%	62%	12%	29%

別表Ⅳ－５ 携帯電話からの着信状況

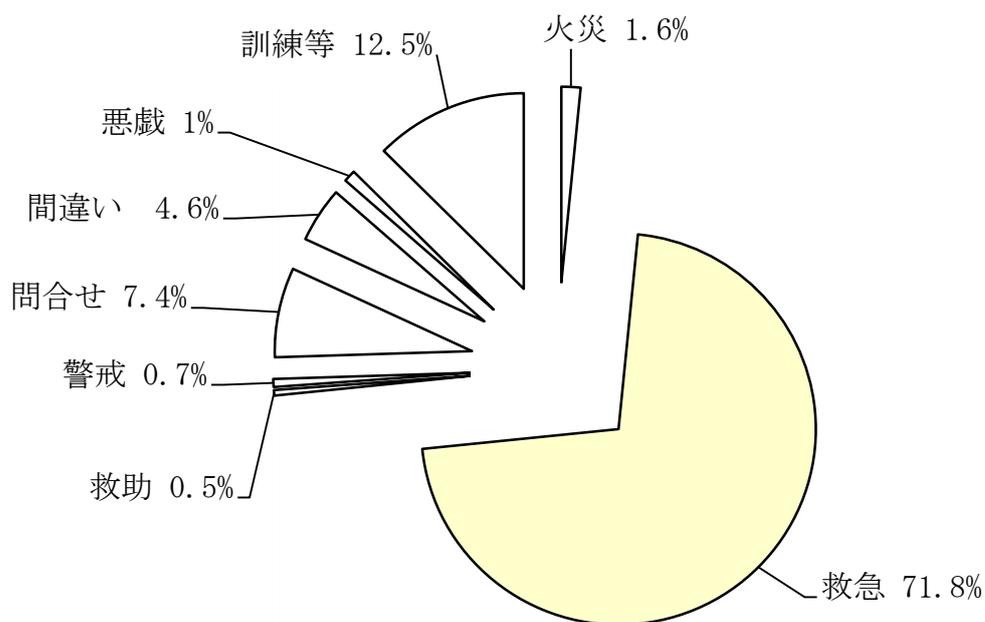
西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に 転送をした件数
直接通報を 受けた件数	他の消防機関から 転送受信した件数	総着信件数	
1,845	15	1,860	24

別表Ⅳ－６ 携帯電話の消防機関別転送状況

他の消防機関から転送を受信した件数				
消防	火災	救急	その他	合計
松江		4	1	5
安来		2	2	4
雲南				
東部				
中部		5		5
新見				
美作地区			1	1
備北				
合計		11	4	15

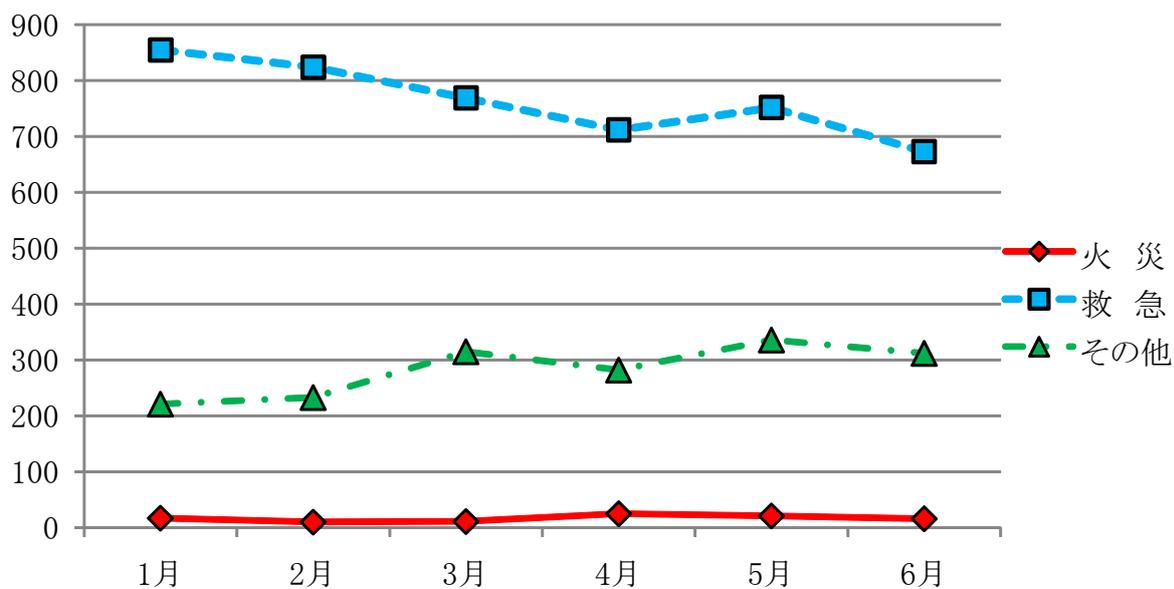
他の消防機関に転送した件数				
消防	火災	救急	その他	合計
松江	1	12	1	14
安来		8		8
雲南				
東部		1		1
中部		1		1
新見				
美作地区				
備北				
合計	1	22	1	24

別図Ⅳ－１ 通報内容別着信状況

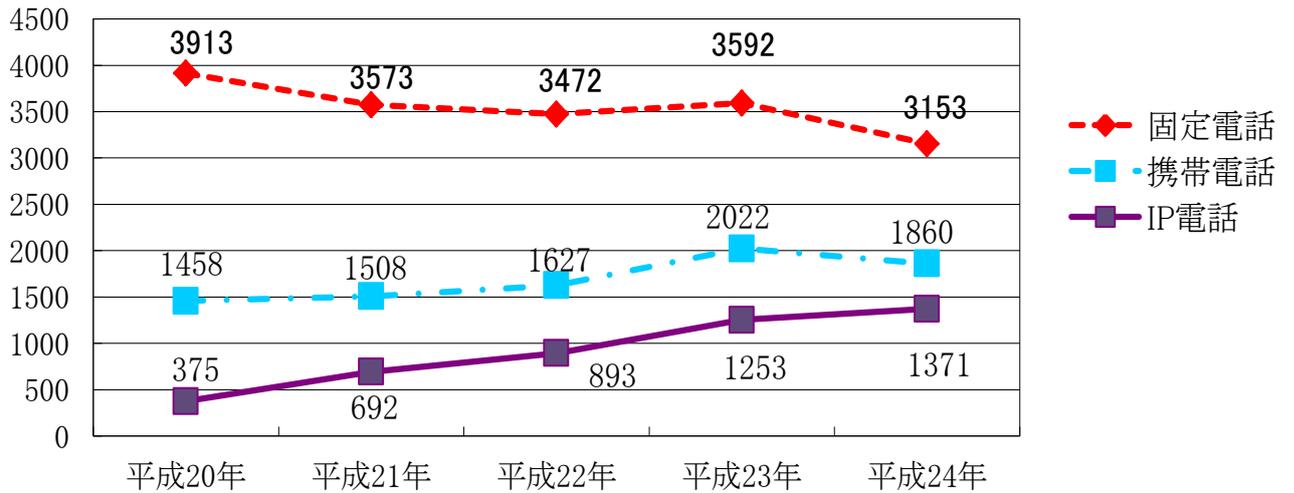


別図IV—2 月別着信状況

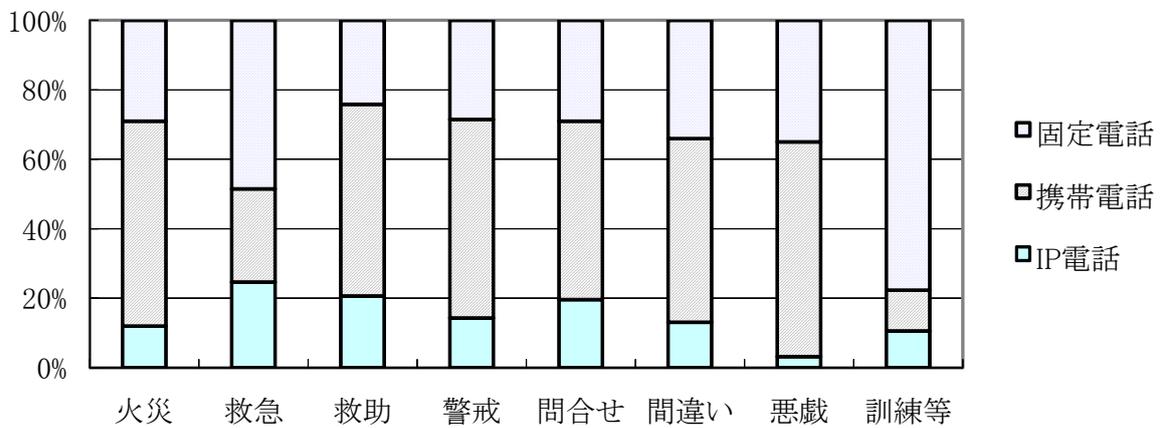
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
火災	17	10	11	25	21	16
救急	855	824	769	712	752	673
その他	221	233	315	282	336	312



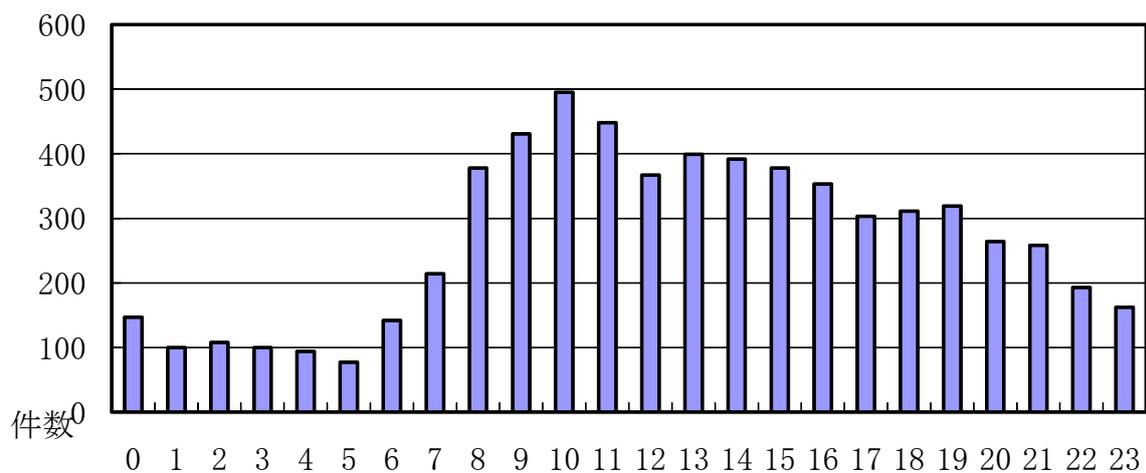
別図IV—3 固定電話、携帯電話、IP電話からの着信推移（上半期）



別図IV—4 災害別の固定電話、携帯電話からの着信比率



別図IV—5 時間帯別着信状況（上半期）





# 消すまでは 出ない行かない 離れない

平成24年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド 0859-22-0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署へどうぞ

名 称	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
消 防 局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859-35-1951
米子消防署	米子市富士見町一丁目103番地1	683-0055	0859-39-0251
米子消防署皆生出張所	米子市皆生五丁目8番5号	683-0003	0859-39-0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859-39-6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859-39-9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859-47-0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859-48-2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859-39-5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3132	0858-49-3001
江府消防署	日野郡江府町武庫1390番地3	689-4411	0859-77-2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859-77-1001

※本概況に関するお問い合わせは下記にお願いします。

火災…………… 予防課予防係	0859-35-1954
救急救助…………… 警防課救急救助係	0859-35-1959
119番着信状況…指令課指令係	0859-35-1960

平成24年7月発行

〒683-0853 米子市両三柳5452番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

TEL 0859-35-1951(代)